

心ふれあう三田のまちづくり
さんだ

こう た
幸田

やすし



地域に活力を!
まちに賑わいを!
くらしに安全・安心を!

こう た
幸田やすし プロフィール

Profile

1960年（昭和35年8月26日生まれ）

現在の駅前町で生まれる

自宅：三田市西山2丁目27の10

経 歴

- 1967年 聖母の園の幼稚園 卒業
- 1973年 三田市立三輪小学校 卒業
- 1979年 仁川学院高等学校卒業（中学部より在学）
- 1983年 大阪学院大学外国語学部 英語学科卒業
- 1983年 （株）堀江家具製作所勤務
- 1986年 （有）幸田家具店に勤務
- 2003年 （有）幸田家具店 代表取締役社長に就任
- 2016年 三田市議会選挙に初当選

三田市商店連合会副会長

三田市消防団第二分団 元第五班 班長（32年間在籍）

三田市商工会 総代

社会福祉法人 理事

元三田市商工会 理事

元三田駅前商店街協同組合 理事長

元三田市立三田幼稚園・小学校PTA会長

元兵庫県立有馬高等学校 育友会長

元兵庫県立高等学校PTA連合会 監事

元三田青年会議所 監事

家 族 妻・子ども3人（長女夫婦、姫路在住）

趣味・特技・資格 防災士・少林寺拳法初段・レコード鑑賞
ドラム演奏・卓球

好きな言葉 初心忘れるべからず。
ナンバーワンよりオンリーワン

幸田やすし 後援会 事務所

三田市西山2丁目27-10

携帯.090-8884-4879 TEL.079-562-2368(FAX兼用)

幸田やすし 駅前 事務所

三田市駅前町7-27(幸田家具店内)

TEL.079-562-2557  kota-yasushi.com

こう た 幸田やすし

子ども達が夢を持ち、お年寄りが
安心して暮らせるまち、元気と笑顔の三田に!!

心のふれあいを大切にしたまちづくりを推進します

三田は豊かな自然環境と歴史的町並みがあり、新しい町とが調和のとれた快適な住空間が存在します。しかし急激な人口増加により人と人とのつながりやコミュニケーションでの課題もあります。小さな子どもから大人までが参加できるまつりや自治会等の行事は地域をいきいきと元気なコミュニティを築きます。それぞれのまちや地域で「助け合い」の意識をもてるような交流を推し進めていきます。さらに市民の皆さんと市政をつなぐ窓口となって、魅力ある三田のまちづくり活動に取り組みます。

市民の健康と命を守るための医療体制を維持します

三田市民病院は、神戸市や丹波市からの患者も多く受け入れていますが、現在、診療報酬の改定、医師不足、働き方改革により医療を取り巻く環境が変化しています。また六甲北部地域では医療資源が乏しく、どのようにして地域医療を守っていくのが課題となり、急性期医療を守る仕組みを構築していくべきと考えます。このようなことから今後の三田市民病院は、救急患者の受け入れや急性期医療の充実を計り、市民にとって安全・安心な医療が受けられる病院でなければなりません。



都市計画道路・横山天神線の延伸を要望しています

現在横山天神線は南ヶ丘の嶋ヶ谷京口線で止まっており三田幹線まで延伸することを要望しています。三田幹線まで開通することにより、多くの学校の通学路等の安全な通行ができます。

SANDAミュージックフェスティバルの開催を推進します

第一回 SANDAミュージックフェスティバルを昨年開催しました

「音楽は心の糧である」と言われています。音楽は老若男女を問わず、共に感動することができます。その上、苦しい時には心を癒し、生きる力や勇



気を与えてくれます。

こうした音楽のフェスティバルを三田で開催することを推進します。

**音楽の良さを
みなさんと一緒に共感しましょう♪**

青少年の健全育成を推進します

次代を担う子ども達がかげがいのない存在であることを認識し、地域の中で自らが学び、伸び伸びと生活できるように、家庭、学校、地域が連携した青少年の健全育成を推進します。私は小学校区地域安全自主見守り隊員として、子ども達の安全を見守っています。



三田小学校区・地域安全自主見守り隊
写真:警察庁生活安全局生活安全企画課HPより

商業者の発展と三田駅周辺の整備を推進します

三田駅前には市の玄関口であり、来訪者にもまちのイメージを印象づける重要な地域です。三田駅周辺のまちづくりは複合的な都市機能の立地や道路、公園などの公共施設の整備、土地の合理的かつ健全な利用を計画的に



三田駅前再開発C地区 にぎわい広場イメージ

進めています。また現在の商店街は、地域経済発展において重要な役割を果たすと共に、お買い物に来られた方の憩いの場であるほか、イベント等、商品やサービスを提供することで、地域の人々との交流があります。また商店街は地域の暮らしを支える生活基盤としてコミュニティ機能や公共的機能も担っており、今後も商業店舗等の賑わいのあるまちづくりを推進してまいります。

また三田駅の南東側の1.9ヘクタールと広大な土地に、三田駅前Cブロック地区再開発準備組合は市街地再開発事業に向けて地権者等、周辺住民に対して事業説明を行い、令和1年12月、兵庫県の公共事業等審査会において三田駅前Cブロック地区市街地再開発事業は「事業着手が妥当」の答申を受け令和2年度より、国、県、市の補助金を受けて事業を進めることとなりました。さらに三田駅前Cブロック地区再開発準備組合は、事業を進めるに当たり三田市に公共、公益施設の要望をしています。

災害に強いまちづくりを推進します

消防団32年間 現役
2018年より防災士として...

日本の国は気象や地形などの条件から、災害が起こりやすく、これまでも度々大きな自然災害に見舞われています。阪神淡路・大震災では多くの方が自助・共助によって救出されました。災害による被害を最小限にするためには、まず「自助」が基礎となりますが個々の人の力には限界があります。そのようなことから地域の防災力を高めることや、近隣地域住民の助け合いが大切と考えます。最近では大雨や警報時に、ダムの予備放流、事前放流も行われていますが武庫川の水位も上昇することから事前に市民に周知することも大切と考えます。「災害に強いまち」、避難所や防災施設が、安全に整備されるよう努めてまいります。



三田市消防大会

住みよい街に改革します。

生まれ育った大好きなまち三田



三田の人・まち・自然が
大好きです。

田園風景とまちが共存した三田を
住みよい魅力あるまちに!!
心ふれあう温かい思いやりのある
まち、地域に!!

人を守り、地域を守る。